お元気ですか つかじさちのフレッシュ便

第779号

日本共産党高知県議会活動報告ニュース
2015年10月11日発行
電話 088-823-9524（議会控室）
088-843-9281（自宅）

9月県議会報告

子ども・子育て支援新制度で負担が増化
保育士不足の解消にも県として対応強化を

10月1日に、米田稔県議が代表質問に立ちました。

「戦争法」や原発再稼働などの知事の政治姿勢、子そだて支援や医療ベッドの削減問題、介護保険制度の改悪、住宅政策などを質問しました。今後、順次お伝えしたいと思います。

今号では、この4月からスタートした子ども・子育て支援新制度の質問についてお伝えします。この新制度では、保護者の働きかたによって市町村が保育の必要時間を認定。1日8時間の短時間保育の子どもと11時間の標準時間の子どもにふりわけています。短時間の人がお迎えに遅れると延長料金を支払うシステム。保育士が毎日登園と帰園の時間を一人一人チェックして請求しなくてはなりません。現場の負担が増加している実態を示し改善を要求。県も改善を国に求めていると答弁、また保育士不足で入所待機が出ていると指摘。教育長は23市町村で不足している。今後、危機感を共有し、正規職員を計画的に採用していくと、答弁。しっかり声を届けて、"安心の子育て"に改善させていきましょう。

NPO法人ポレール主催学習会
戦後70年 男女平等は進んだか？

こうち男女共同参画センター「ソーレ」事業として開かれた学習会に参加しました。

行政とタイアップしながら男女平等を進めるために活躍されているNPO法人ポレールの理事、木村昭子さんが、日本国憲法でやっと認められた男女同権。しかし、日本の現状は、まだまだ女性の政治や社会参加が遅れ、賃金格差も埋まっていない、運動を広げようと語りました。

わるがも日記 No.777

いつも通る鏡川沿いの道にコスモスの花が満開になって風にそよいでいます。ニコニコ笑ってくれているみたいで、思わず手を振ってしまいました。

アフガニスタンの地で国境なき医師団が働いていた病院が、米軍によって空爆され、医師3人を含む多くの民間人の命が奪われました。怒りで胸がいっぱいになります。

武力によって失なわれるのは尊い命。つくられるのは憎しみの連鎖。くい止めましょう。

春名なおあき 元衆院議員
仁比そうへい 参院議員
が、語る国政報告会
10月17日(土)ごご2じ～
高知城ホール
ぜひ、ご参加下さいませ